

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	下水道事業費用		-
1	営業費用事業(管渠費)	管路の維持管理	⑤
2	営業費用事業(管渠費外)	流域下水道維持管理負担金、事業活動の全般に関連する費用の事務	②
3	営業外費用事業	下水道債に対する利子支払い事務、受益者負担金等賦課徴収事務	①
4	特別損失事業	前年度消費税納付事務等の一時的に発生する支払事務	①
5	予備費事業	予備費執行事務	①
	資本的支出		-
6	建設改良費事業	公共下水道整備に関わる事務、相模川流域下水道等建設負担金事務	③
7	企業債償還金事業	下水道債に対する元金支払い事務	①
	一般会計		-
8	河川総務運営事務事業	河川維持管理	-
9	準用河川改修事業	準用河川(血洗川)の護岸等の整備	③
10	下水道事業会計繰出金事業	下水道事業会計への繰出金支払い事務	①
11	河川災害復旧費事業	河川施設の災害復旧に関わる事務	①

令和2年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	下水道事業費用																	
1	営業費用事業(管渠費)			○			○			○		○			○	○		
2	営業費用事業(管渠費外)			○			○			○		○			○	○		
3	営業外費用事業			○			○			○		○			○	○		
4	特別損失事業			○			○			○		○			○	○		
5	予備費事業			○			○			○		○			○	○		
	資本の支出																	
6	建設改良費事業			○			○			○		○			○	○		
7	企業債償還金事業			○			○			○		○			○	○		
	一般会計																	
8	河川総務運営事務事業			○						○		○						
9	準用河川改修事業			○						○		○						
10	下水道事業会計繰出金事業			○						○		○						
11	河川災害復旧費事業			○						○		○						

予算事業名	河川総務運営事務事業									事業番号	3 - 11 - 8		
細分事業名	－									シート作成日	令和2年8月31日		
予算科目	会計	01	款	08	項	03	目	01	事業	01	事業開始年度	－	
											事業終了予定年度	－	
部 等 名					課 等 名					係 名			
都市建設部					下水道課					下水道整備係			

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 73	柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり				
			部 門	5 河川・生活排水				
			大施策	A 河川の整備				
			中施策	（１）管理河川の整備				
			施策目標	町管理河川の整備を進めます。				
	根拠法令・条例等		河川法・大磯町準用河川に係る管理施設等の構造に関する基準を定める条例					
	個別計画等		－					
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	－		実施項目名	－	
	目 的 （何のために）		町内河川（町管理の準用河川及び普通河川）の良好な維持管理を行う。					
	対 象 （誰を・何を）		町管理の準用河川及び普通河川					
	内 容		河床及び護岸の維持管理業務委託（浚渫・除草） 三沢川 L=2,068m 血洗川 L=1,492m 谷戸川 L=1,060m 鴨立川 L=40m 河床及び護岸の修繕工事					

事業実施（Do）

執行体制		一部委託あり					
事業費		単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）	
	直接事業費（a）		千円	12,117	12,719	13,261	18,825
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		12,117	12,719	13,261	18,825
	職員人数（概算職員数）		人	0.24	0.35	0.50	0.60
	人件費計（b）		千円	1,354	1,902	2,945	3,544
	総事業費（a）+（b）		千円	13,471	14,621	16,206	22,369
事業費内訳（千円） R 02 年度		修繕料：3,690千円、手数料：100千円、傷害保険料：15千円、管理委託料：9,000千円、 工事請負費：6,000千円、修繕用材料費：20千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			準用河川整備率				100.00%	
	指 標 名		単位	項 目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	委託管理箇所数	か所	—	4	4	4	4
				計画値	4	4	4	4
	活動指標 （活動量）	委託管理箇所数	か所	実績値	4	4	—	—
				目標値	100	100	100	100
	成果指標 （達成度等）	委託の完成率	%	実績値	100	100	—	—
				達成率	100.0%	100.0%	—	—
				定性的成果				

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか		④ ニーズに応じて実施する事業ではない	
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい		③ 廃止・休止による影響は大きくある	
		今後も町が実施すべき事業か		⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
	効率性	事業費に削減の余地はないか		② ない	
		関連・類似事業との統合はできないか		③ 統合できない	
	有効性	事業の成果は得られているか		③ 十分な成果が出ている	
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項		—		
	主な改善経過 (過去4年間)		過年度の経過や実績を踏まえ、当該年度の業務が実態に応じたものとなっているか、よく精査したうえで業務を執行している。		
課題		除草等の簡便な維持管理については沿道住民が自主的に行っていた経緯があるが、ここ数年、住民の高齢化が進み、安全に作業を行えなくなったことから、町による主体的な維持管理を求める要望を受けている。また、ブロック積み等の護岸施設の老朽化が進んでおり、適切な維持修繕を実施する必要がある。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	拡充	R01年度	拡充	H30年度	拡充	H29年度	—	
		理由	効率的な維持管理を行うことで、適正な河道の確保及び浸水被害を防除し、流域一帯の保全を図る。また、施設の老朽化に伴う改築時期を遅らせライフサイクルコストの低減を図る観点から効果的な修繕を実施していく必要がある。							
	課題解決への視点		三沢川等、川底に堆積する土砂を取り除く（浚渫）費用が多額となることから、河川の浚渫箇所を工夫（大きく堆積した場合のみ対応）して、委託発注している。							
	着手する事項	R02年度	今後も三沢川等、河川の浚渫箇所を工夫して、委託発注する。							
		R03年度	今後も三沢川等、河川の浚渫箇所を工夫して、委託発注する。							
	R02年度改善事項		河床浚渫作業については、土砂堆積状況の詳細調査を事前に行い、堆積が顕著な箇所を優先して浚渫すること等により、事業費の削減を図った。							
	記入日									
	令和3年2月26日									